

一級自動車工学科、自動車整備科、自動車整備・ボディリア科、自動車整備・加圧科、国際自動車整備科						2023年度 授業計画	
時期	2年D巡	単元	実習	教科名	総合整備		
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	工具	発行日	2021年3月17日		
			サーキットテスト				
総時限	23(36)		実習ノート	教科担当	教科担当		
<b>1. 実務経験のある教員による授業科目</b> <span style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">該当</span> <span style="margin-left: 20px;">非該当</span>							
自動車整備士として、自動車の構造物、部品等を点検、調整する実務経験がある教員により計測技術について指導する。							
<b>2. 教科の目的</b> (この学科の狙い、目的を明確に記入)							
1. 日産3級技能要件の確認 2. コンサルTⅢの取扱いが出来る。 3. 各種点検（新1、新6、安心6か月）が出来る。							
4. 各種作業（ブレーキ、エンジン周り、パンク修理等）が出来る。 5. 車両取扱い時の注意事項を熟知している。 6. 就職後の車両取り扱い・作業全般を身に付ける							
<b>3. 授業の到達目標</b> (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)							
1. お客さまの車両を取扱う上での注意事項を熟知する。 2. 配線図から空端子を見つけて、オプションを装着することが出来る。 3. ワイパーリフィル、エアクリーンフィルタなど一般作業が出来る。 4. コンサルTⅢで自己診断機能及びデータモニタの呼び出しができる。							
<b>4. 学習評価</b> (期末試験での主な試験項目)							
実習試験の合計100点で評価（実技試験50点、筆記試験20点、レポート点15点、行動評価15点） 一級自動車工学科 70点以上 自動車整備科 60点以上 自動車整備ボディリア科 60点以上 自動車整備カスタマイズ科 60点以上 で合格							
<b>5. 準備学習</b>							
今まで学習してきたお客様の車の取扱いについて実行できるようにしておくこと。							

時期	2年D巡	単元	実習	教科名	総合整備	
<b>7. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容)</b>					<b>8. 教科書、資料、備品類</b>	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	授業概要、目的、目標の説明				T32	4台分
2	■ローテーション表に基づき各班毎に課題実施 2.5h (練習) + 1.5h (TS3実技試験) × 3ローテ				V37	2台
3					Y51	2台
4					F15	8台
5					コンサルトⅢ	4
6					タイヤエア充填機	4
7					ホーン	1
8					平端子(メス)	適量
9					平端子(オス)	適量
10					カバー(メス)	適量
11					カバー(オス)	適量
12					トルクレンチ (デジタル)	4
13					トルクレンチ (プリセット)	4
14					輪止め	14台分
15					リジトラック	4台分
16	輪止め	14台分				
17	各課題要領書	14				
18	■ローテーション表に基づき各班毎に課題実施 2h (練習) + 1h (課題により実技試験) × 3ローテ				ダイヤルゲージ	8個
19	■ 学科試験 (筆記) 、片づけ				マグネットスタンド	8個
20					ノギス	8個
21					マイクロメータ	8個
22					バンク修理キット	
23						

■ : 対面授業

時期	2年D巡	単元	実習	教科名	総合整備
<b>7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)</b>					
番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック	
1	ジャッキアップ、ダウン	・ジャッキアップ、ダウン時の声掛け 輪止めの使用徹底	・ティアナのジャッキアップポイントを間違え、 スペアタイヤの部分が損傷		
2	ブレーキ分組 (前後) スパーク・プラグ交換	状況に合わせたメカニックグローブの装着	・内張りを取り外す際に指を裂傷  ・室内配線を取り回している最中にバリで手を切った。		
<b>8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)</b>					
実習場			座学教室		